

エンブレムポストTYPE W

施工説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

施工店様へのお願い

はじめに

製品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
本施工説明書および取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください。
この説明書は、大切に保管いただき、永くお役立てください。
製品の引き渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・手入れの方法等の説明を十分に行ってください。また、ダイヤル錠番号のシールは確実にお客様にお渡し下さい。

同梱品の確認

付属品在中と書かれた小箱の中に、同梱品チェックリストが収められています。開梱後直ちに、同梱品とチェックリストの照合を行ってください。

欠品がある場合は、チェックリスト記載の連絡先まで至急、お知らせください。

一般的なお問い合わせは：ナカシマプロペラ（株）イオス開発グループ TEL086-279-5115

INDEX

| | |
|---------|-----|
| 設置上のご注意 | 1 |
| 施工上のご注意 | 1 |
| 梱包内容一覧 | 1 |
| 各部の名称 | 2 |
| 各部の寸法 | 2 |
| 施工手順 | 3～7 |

設置上のご注意

設置場所に製品が収まるかを、施工前に必ず確認してください。
施工壁面内には、他の配管（電気・水道・ガス）が埋込まれていないことを確認して下さい。
ガス給湯器等の排気が直接当たる所には設置しないでください。
本体には電装部品が組み込まれていますので、梱包を屋外に放置しないでください。

施工上のご注意

電気工事は、電気用品安全法に適合した部品と工事法に基づいた工事の施工を、電気工事店様にご依頼ください。

商品の施工につきましては、必ず本説明書に従って施工してください。
製品の改造・変更は絶対にしないでください。
照明、インターホン等の電気工事および地中の配線工事は、必ず電気工事店にご依頼ください。その際、本商品の施工をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。
本体に電源スイッチはありません。必ず屋内にスイッチを用意してください。
設置場所の地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないように注意してください。
基礎はかならず基準どおりに工事してください。
施工時に、本体に物をぶついたり、傷を付けたりしないように十分注意してください。
モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生促進の作用がありますので使用を避けてください。
または塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムが入っていないものを使用してください。
施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに拭き取ってください。
施工完了後、ねじ類のゆるみ・脱落がないように再度点検してください。
施工完了後、照明・インターホン・ダイヤル錠等の作動確認を必ず行い、不具合がないことを確認してください。

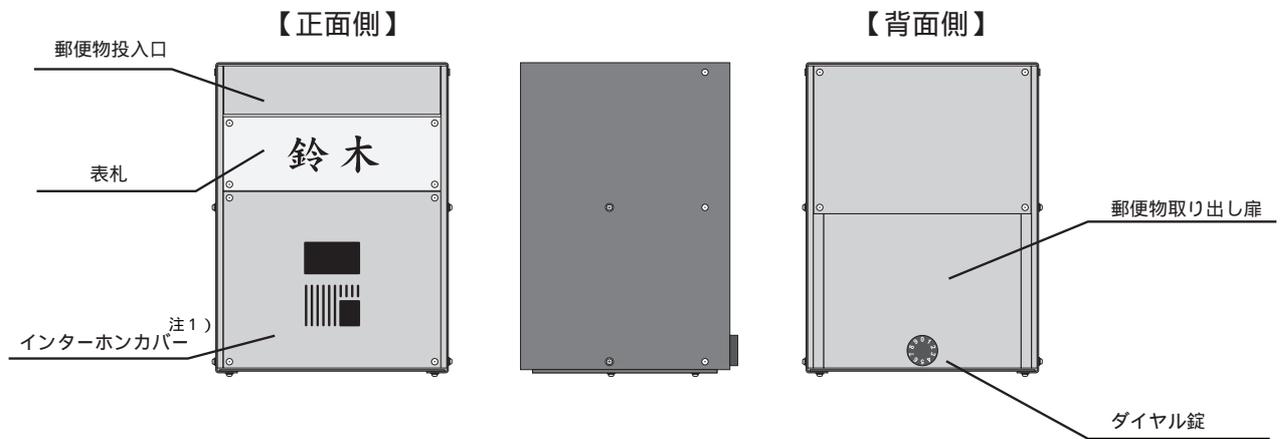
梱包内容一覧

| | 名称 | 個数 |
|------------|--------------------------|----|
| 本体箱 | TYPE W本体 | 1 |
| | 蛍光ランプ | 1 |
| | ダイヤル錠暗証番号シール | 1 |
| 付属品 梱包箱 | 同梱品チェックリスト | 1 |
| | 施工説明書（本書） | 1 |
| | 取扱説明書 | 1 |
| | 表札注文書 | 1 |
| | インターホンカバー ^(*) | 1 |
| | 表札プレート（無地アクリル板） | 1 |
| | ネジ | 8 |
| | 六角レンチ | 1 |
| ゴムブッシュ | 2 | |

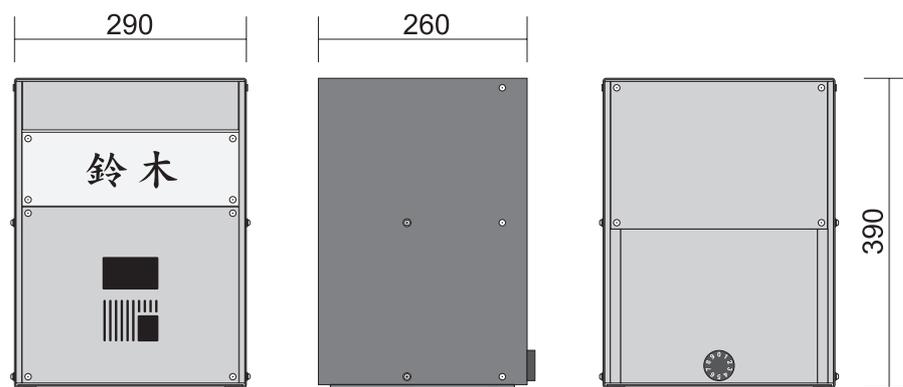
配管・配線材について

PF管、電源線、アース線、圧着スリーブなどは付属していません。別途、現場で手配してください。

各部の名称



各部の寸法



注1) 標準仕様のインターホンカバーはスリット加工がありません。

施工手順

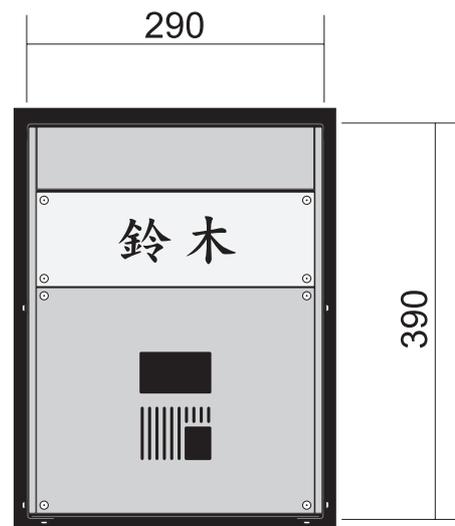
ポストの高さはインターホンの子機の設置基準にしたがって決めて下さい。

1 基礎工事

事前に地中配管用の基礎工事をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。

塀の基礎工事

外形寸法(290x390)よりたて、よこ2cmぐらい大きめの穴を壁にあけてください。

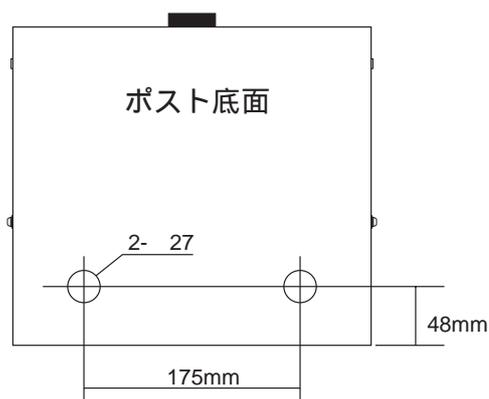


電気配線

ポスト底面まで必要な配線工事をしてください。

(照明器具用電源と、インターホン用の信号線は別配管にしてください。)

なお、AC100Vの電源線は3芯VVFを使用し、必ず接地工事をおこなってください。また、それぞれの電源線、アース線、信号線は、ポスト底面より350mmくらい余裕をもって引き出してください。



正面(投入口)側

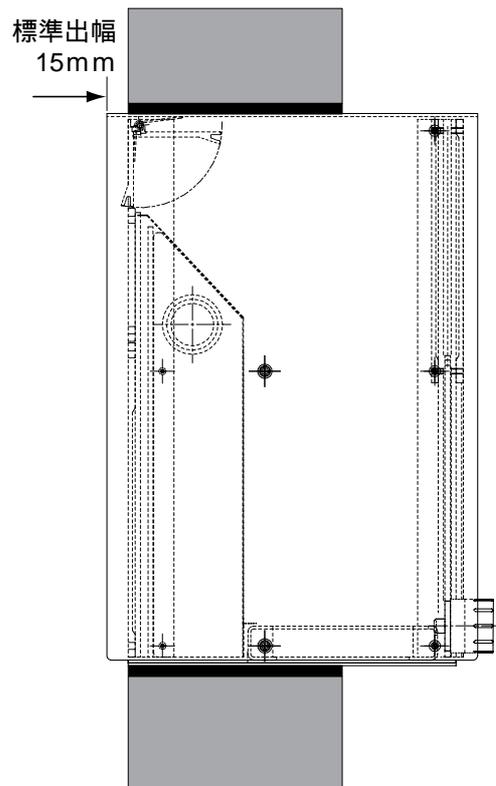
ポスト底面の中央部には穴があいておりません。コンクリートブロックの穴を使って配管を通す場合には、中央でなく左右に穴を使ってください。

2 ポストの取り付け

PF 管をそのままポストに接続する場合は、ポスト底面の穴をそのまま利用してください。電源線のFケーブルを直接ポストに入れる場合には、かならずポスト底面の穴に付属品のゴムブッシュを付けてください。

収まり図を参考に、ポスト本体を穴に入れ込み、モルタルやコーキングで固定してください。

ポスト前面の出幅は、ブロック塀の化粧代を計算にいれて調整してください。



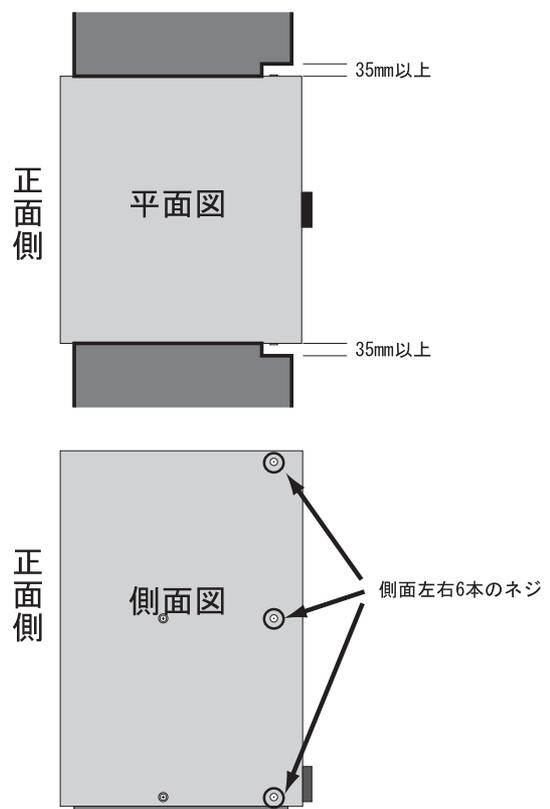
注意

厚い壁にうめこむ場合

ポスト本体左右側面の後寄りに付いている6本のネジは、壁にうめこまないでください。ポストの修理が必要になったときには、この6本のネジを緩める必要があります。

厚めの壁（厚さ210mmを超えるような場合）には、右図のように切り欠きを作ってネジの頭を露出させてください。

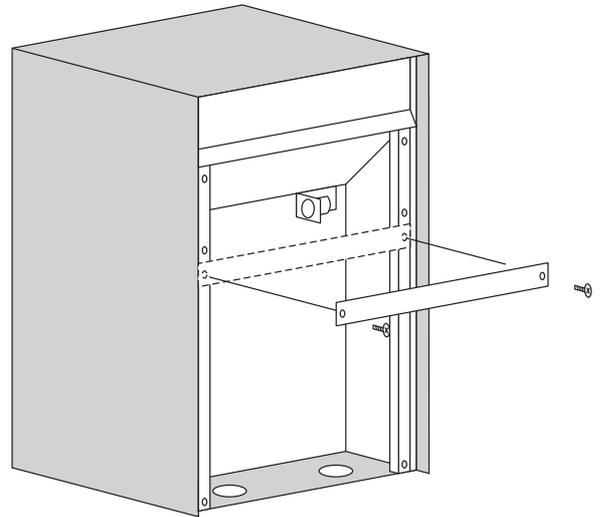
6角レンチでネジをとりはずすには、最低35mmの隙間が必要です。



3 補強プレート

ポストが安定したら、ポスト前面についている補強プレートを取りはずしてください。これは、輸送時や埋め込み施工時にポストの形状を保持するための金具です。

(固定に使用しているネジは、これで不要になります。補強プレートとあわせて適切に処分願います。)



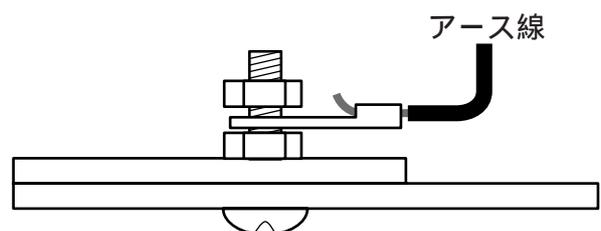
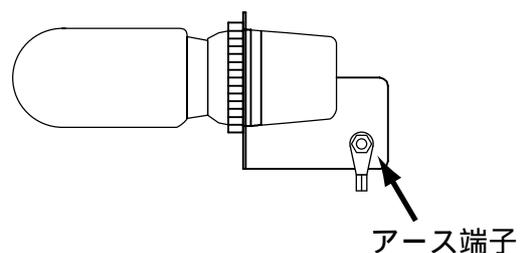
4 電源・アース線の結線

ソケットから出ている2本の線に電源線を圧着してください。必要に応じてビニールテープなどで絶縁処理をおこなってください。

アース線は電球ソケットのブラケットにあるアース端子に、付属の圧着端子を使って接続してください。圧着端子は、アース端子にネジ止めされています。

【手順】

- (1) アース端子のナットをはずします。
2重ナットになっていますので、上のナットのみはずしてください。
- (2) 圧着端子を取り外し、アース線に圧着してください。
- (3) 圧着端子を取付け、ナットを締め付けます。



ここでは、インターホン子機とその台座（インターホン子機に付属しているもの）の取付や取り外しの作業が発生します。これらの作業につきましては、インターホン子機の取扱説明書をご参照ください。

インターホン子機より、インターホン子機の台座を取り外してください。（台座の取り外し方は、インターホン子機の取扱説明書をご参照下さい。）

インターホンカバーにネジ止めされている子機取付金具を取り外し、金具に付属のネジ（M4ネジ）で、インターホン子機の台座を固定してください。【図1】

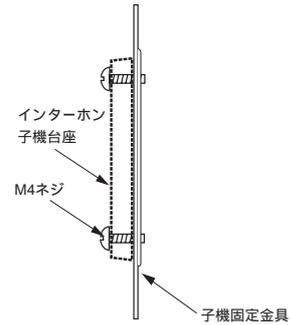
インターホン子機の取扱説明書に従って、インターホン信号線を子機に接続してください。このとき必要に応じて、信号線を台座の中を通しておいてください。

インターホン子機本体の取扱説明書に従い、子機取付台座に子機を取り付けてください。

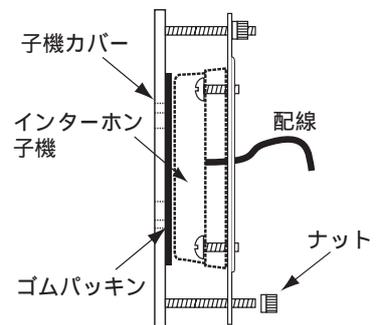
取付金具をインターホンカバーの埋込ボルトに合わせナットを締めてください。（【図2】通常パッキン）

図3のような特殊なゴムパッキン（厚みが20mmくらいあるもの）の場合は、子機をゴムパッキンの中に先に押し込んだ後、子機カバーにとりつけてください。（【図3】特殊パッキンの場合）

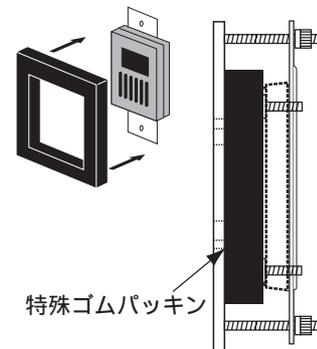
インターホン子機を取り付けたインターホンカバーを、エンブレムポスト正面より4本のネジで取り付けてください。



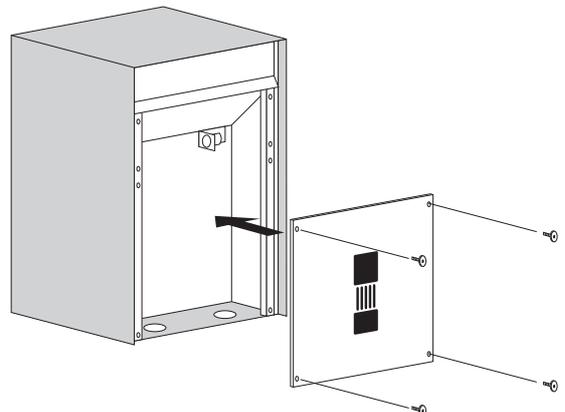
【図1】金具に子機台座を取付



【図2】通常パッキン



【図3】特殊パッキンの場合



【図4】ポスト本体への取付

6 同梱部品の組込み

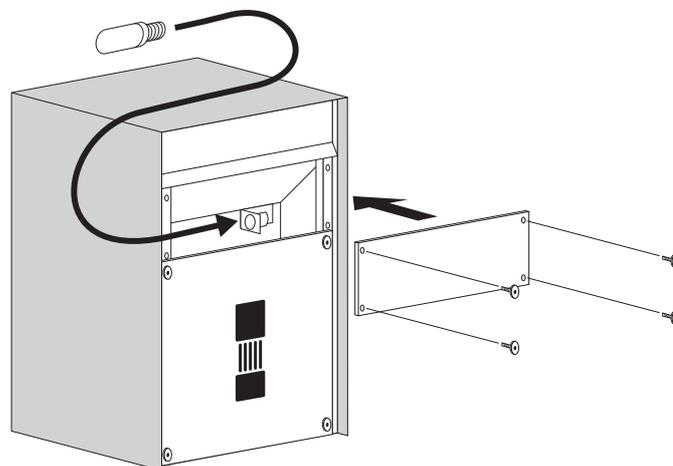
安全のため、ポストの電源は切った状態で作業してください。

電球の取り付け

電球のソケットに、付属の蛍光灯型電球をねじ込んでください。

表札板の取り付け

表札板をポストの正面より取り付け、4本の止めネジで固定してください。



7 ダイヤル錠の確認

ダイヤル錠の番号が記載されているシールを見て、その番号で開錠出来ることを確認してください。また、施錠も問題なく行えることを確認してください。(ダイヤル錠の操作については、取扱説明書をご参照ください。)

この施工説明書、取扱説明書、表札注文書、六角レンチ、ダイヤル錠暗証番号シールは、確実にお客様にお渡し下さい。